

## 【報告】

## 第11回 子どもの禁煙研究会

2017年7月7日

## 【研究会】

- ◆開催日：2018年(平成30年)7月7日(土)
- ◆場所：沖縄県薬剤師会館  
沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10
- ◆研究会の趣旨：子どもに対する禁煙活動に焦点をあて、  
沖縄県の禁煙活動の推進を図る。
- ◆主催：日本禁煙科学会、子どもの禁煙研究会
- ◆後援：沖縄県医師会、沖縄県健康づくり財団、沖縄県小児科医会、  
沖縄県薬剤師会、沖縄県歯科医師会、沖縄県小児保健協会、  
沖縄県看護協会、沖縄県保健医療部、沖縄県教育委員会、  
健康日本21推進全国連絡協議会(順不同)

## 【主たるプログラム】

- ◇開会の辞  
オリブ山病院 譜久山民子
- ◇講演1 学校における最近の防煙教育事情  
沖縄県薬剤師会 笠原大吾
- ◇講演2 子どもをタバコから守る～新型タバコの危険性の最新知識  
日本禁煙科学会 高橋裕子
- ◇ミニコンサート  
琉球交響楽団 団員による演奏
- ◇事例紹介とグループディスカッション  
テーマ：支援者それぞれの役割について自分なら何ができるでしょうか  
事例提示：17歳男子高校 徳山クリニック 永吉奈央子
- ◇閉会の辞  
沖縄県立中部病院ハワイ大学卒後医学臨床研修事業団 安次嶺馨



第11回  
子どもの禁煙研究会

2018年7月7日(土) 15:00~18:00  
**沖縄県薬剤師会館** (南風原町新川218-10)  
 参加費 500円(資料代)  
 日本禁煙科学会 禁煙支援士受講点(1点) 日本薬剤師研修センター認定研修

**プログラム**

|                                    |                               |
|------------------------------------|-------------------------------|
| 開会の辞                               | オリブ山病院 譜久山民子                  |
| 講演1「学校における最近の防煙教育事情」               | 沖縄県薬剤師会 笠原大吾                  |
| 講演2「子どもをタバコから守る～新型タバコの危険性の最新知識」    | 京都大学 高橋裕子                     |
| ミニコンサート                            | 琉球交響楽団 団員                     |
| 事例紹介とグループディスカッション                  |                               |
| テーマ「支援者それぞれの役割について 自分なら何ができるでしょうか」 |                               |
| 事例提示:17歳男子高校生                      | 徳山クリニック 永吉奈央子                 |
| 閉会の辞                               | 沖縄県立中部病院ハワイ大学卒後医学臨床研修事業団 安次嶺馨 |

参加申し込み方法  
 下記URLまたはQRコードの参加申込フォームよりお申込みください。  
<https://form.os7.biz/f/df0071f1/> 〆切 2018年7月1日(日)



主催 日本禁煙科学会 子どもの禁煙研究会  
 後援(予定) 沖縄県医師会 沖縄県健康づくり財団 沖縄県小児科医会 沖縄県薬剤師会 沖縄県小児保健協会  
 沖縄県歯科医師会 沖縄県看護協会 沖縄県保健医療部 沖縄県教育委員会 健康日本21推進全国連絡協議会

## 第11回子どもの禁煙研究会

日本禁煙科学会HP(子どもの禁煙研究会(2018)のページ)

[http://www.jascs.jp/kodomo\\_kinen/kodomo\\_kinen\\_2018.php](http://www.jascs.jp/kodomo_kinen/kodomo_kinen_2018.php)

## 【開催報告】

はじめに、西日本豪雨被災地の皆様へ心よりお見舞い申し上げます。

今回、第11回子どもの禁煙研究会へ参加を予定して下さった方の中には、豪雨の影響による交通事情で来れなかった方もいらっしゃいました。一日も早い復興をお祈りいたしております。

さて、2018/7/7に沖縄県薬剤師会館で開催した第11回子どもの禁煙研究会は、48名の方に参加いただき、とても有意義な時間となりました。多忙な中ご参加下さった皆様ありがとうございます。恒例により、報告させていただきます。

### 講演 1

県薬剤師会の笠原大吾先生から、学校薬剤師の活動として喫煙防止教育のお話をいただきました。たばこの基礎知識から最新の、特に新型たばこに関しても詳しく、子ども達にもわかりやすい資料を使ってすばらしいお話、圧巻でした。薬剤師の先生方も多くご参加いただきましたが、PPTがすばらしい、ぜひ自分たちもこのようにやってみたいなど大きな反響がありました。

### 講演 2

高橋裕子先生からは、新型たばこの海外と日本の違いやマーケティングの裏事情まで聞かなければわからない貴重なお話をいただきました。加熱式たばこがこれだけ売れてる国は日本だけ、電子たばこは「ドラッグと同じと考えなければならぬ」、新型たばこ規制対策が後手後手になっている現状、等々。

また未成年の禁煙事情について、未成年の支援には最初の2週間に緻密にフォローすることや、保健所や児童相談所も介した連携システムが重要であることなど、いつもながら新しい知識を学ばせていただきました。

### ミニコンサート

琉響メンバーによるフルート二重奏。

澄み渡るような心地よい響きに、頭も心も癒され、コーヒーをいただきながら贅沢な時間でした。安次嶺馨先生からの毎回の音楽のプレゼント、心より感謝申し上げます。

### 症例検討

17歳の男子高校生。来院前に他院で禁煙治療うけるも2回目受診時に「もう大丈夫だから終了」といわれたが3か月以内に再喫煙していた。今回当院で禁煙治療開始も2回目来院せず、、、。さあ、あなたなら何ができますか？盛り上がり盛りに盛り上がったディスカッションでした。

### Q & A

鋭い質問が多数寄せられ、各々に対して的確にお答えになる高橋先生の質疑応答はまさに圧巻でした。

## 【事例ディスカッション報告】

### 事例提示

<17歳男子高校生>

- ・初回喫煙14歳（中2秋）、常習喫煙開始14歳（中2秋）、やめられないと気づいたのも14歳（中3夏）
- ・A病院禁煙外来で保険適用でニコチネルTTS20mg処方を受け3日間使用で禁煙成功
- ・2回目受診時、「医師からもう大丈夫といわれて」通院が終了となった
- ・約1か月禁煙できていたがその後再喫煙あり
- ・学校からのすすめで母親同伴でBクリニック禁煙外来を受診、10日間の停学中
- ・友達10人のうち7人が喫煙
- ・学校の先生と禁煙外来の連携可
- ・本人たばこは「やめたい」
- ・TDS6点 FTND3点（軽度依存）呼気CO 2 ppm（前医では18ppm）

### <Bクリニック初診時対応>

- ・A病院受診からの期間が短いため、保険適用にできず、自費でニコチネルTTS20mg 3枚の処方を受けた
- ・4日目看護師からの電話には、母親が対応、「がんばって吸っていないようだ」
- ・禁煙日記を記入しているかは「わからない、見ていない」
- ・2回目の受診予約をあらためて確認し、来院するように念を押した。
- ・2回目受診予定日の前日、母親から電話連絡あり
- ・「家族の体調不良のため送迎ができないので様子みてから再度電話で予約します」とのと申し出あり
- ・以後連絡なし、受診なし

### ディスカッションテーマ

このケース、あなたなら何ができるでしょうか？

### 各チームからの主な意見

#### <通院環境について>

- ・送迎ができないを理由にして通院が途切れてしまったのが残念、何とかならなかったのか
- ・自費になってしまったが、経済的な負担が本当はどうだったか気になる
- ・通院しやすい外来へ紹介したり、自費なのだから薬局でニコチネルOTCで支援が受ける方法もある
- ・ニコチネルOTCを介して薬局で支援が受けられるということに関しては、早い段階での情報提供が必要
- ・学校薬剤師として、保健室で支援できないかなと思う

#### <母親との連絡について>

- ・初診に親子一緒に受診していることから、保護者の意識は高かったように思われる
- ・来なくなった時点で、もう一度親に電話してみてもどうか
- ・禁煙外来に来ることに関して、送迎の点や費用も含めて、親の気持ちも聞いてみたい
- ・お父さんとも連携したい
- ・もう一度お母さんと連絡して「今の状況どうですか」と聞いてみては  
新しい情報が入るかも  
あるいはほんとうは、もう一度禁煙外来に来たいと思っているかもしれない
- ・本人に直接連絡するという方法もありかも
- ・なぜ禁煙が必要か、喫煙有害性の知識が親子ともに十分でなかったのかもしれない  
本人とお母さんに喫煙有害性や禁煙メリットについて説明し、禁煙治療を継続するように促したい
- ・お母さんへの働きかけを考えたい。  
もっと子どもに目をむけてもらう必要があるのかもしれない  
もっと子どもとむかいあうことができるようにとの支援が必要かもしれない

#### <学校との連携>

- ・学校との連携が大事だが、幸いにも学校からの紹介でBクリニックに来ている  
本人と親からも担任の先生との連絡をしてもよいとのことなので、学校担任にもっと協力を仰ぎたい所
- ・学校での様子について担任から話をきいてみるとか、受診していないことを伝えて協力をお願いすることができればとも思う
- ・友達の中で10人のうち7人が吸う状況からみて、友達関係がどうなのか、担任の先生が信用できるなら相談したい

#### <本人について>

- ・子どもの禁煙支援は、初診から間をあげずに連絡していくことが大事
- ・呼気COが18ppmから2ppmになっていることをほめたい
- ・ひょっとして今も禁煙できているということも考えられる
- ・友達に自分の禁煙をどう伝えたのか、友達の反応はどうだったか尋ねてみたい
- ・吸ったことで学校で叱られている  
禁煙外来もこの感覚でいたかもしれない、そういうところではないということをもう一度伝えたい
- ・停学中とのことだが、本人がほんとうは禁煙についてどう思っているのか、もう一度確認したい  
自覚を促すことにもなると思う
- ・まだ禁煙外来受診は始まったばかり、じっくり取り組むつもりで、時期をあけてまた連絡するという方法もある

・・・・・・・・・・・・・・・・

永吉先生からのコメント：

- ・OTCをという意見、とても参考になりました

安次嶺先生からのコメント：

- ・子どもの育つ環境において、タバコの害にさらされる傾向が強い。みなさんのように熱心に参加くださる方がおられて心強い
- ・この場に喫煙者にも来てほしい
- ・今回は応用問題、どう考えたらいいのか
- ・方向性を出してゆくということは大切なこと、グループでの討議もすばらしい

高橋先生からのコメント：

- ・大変難しいがよくあるケース
- ・母親が子どもの気持ちに引きずられてしまっているかもしれない
- ・家族の体調不良が中断の理由だが、本当は子どもが行きたくないと言っているのかもしれない
- ・うまくいかないケースでも、大人が親身になって相談にのってくれることを子どもが知ることが禁煙外来の一番の宝物
- ・来た子どもを抱きしめてよく来たねと迎え、一緒にいろんなことを考える
- ・禁煙の成功不成功より、子どもに寄り添う時間が重要
- ・吸わない子も含めて社会全体に喫煙予防の意識を普及させることも重要

・・・・・・・・・・・・・・・・

最後に、活発な討議を展開くださった各チームメンバーに感謝します！

<チーム名>

- ・パイナップルチーム・ゴーヤチーム・シークワサーチーム・たんかんチーム
- ・なーべーらーチーム・とんとんみーチーム

## 【第11回子どもの禁煙研究会 アンケート】

第11回子どもの禁煙研究会参加者アンケート結果をご報告いたします。多くの貴重なご意見に心より感謝申し上げます。回答者は25名（参加者の52%）です。

Q1. 今回の内容について

とても良かった16名64% 良かった8名32% 普通1名4%

Q2. 本研究会が多職種連携に役立つと思うか

役立つ21名84% まあ役立つ2名8% 普通1名4% 未記入1名4%

Q3. 休憩時間のミニコンサートについて

とても良かった22名88% 良かった2名8% 未記入1名4%

Q4. 本日もっとも印象に残ったこと

<新型たばこについて>

- ・新型タバコについて、電子タバコ、加熱式タバコ、他、色々なタバコの有害性について知識を得ることができた
- ・電子タバコがこんなに安く、インターネットで購入できることを知らなかったのが驚いた
- ・ニコチンゼロとある電子タバコにもニコチンゼロでないものがあるということ
- ・学校の先生方にも新型タバコの知識を知って欲しい
- ・子供たちが電子タバコをおもちゃの感覚で吸ってしまったら
- ・アイコスがこれほど売れているのはわが国だけ
- ・ニコチン0、タール0という記載の電子タバコの情報を喫煙者が誤認識している可能性があるので、正しい情報を喫煙者に伝えていくことが必要

<学校薬剤師>

- ・学薬のスライドがとてもわかりやすかった
- ・ゲイトウェイドラッグと電子タバコの有害性
- ・児童生徒の禁煙に関して学校薬剤師の活用法があること

<未成年の禁煙>

- ・小児の禁煙治療の関わりは、多職種の連携が大切だと感じた
- ・「喫煙の未成年の時期に出る影響」が印象的、喫煙防止教室に活用できないか検討します
- ・未成年がタバコを手に入れやすい状況がある
- ・子供の禁煙サポートをすることで最も大切なことは、大人が子ども達に関わる事
- ・子どもの喫煙を治療につなげる大切さ 来てくれたら嬉しいという態度を持ちたい

<事例ディスカッション>

- ・他職種の方と意見交換ができた(多数)
- ・母親の考えが、子どもに対して否定できない可能性もあると聞き、家族ともかなり話し合いが必要であることに気づくことができた
- ・職域を越えて子どもの禁煙について考える方々が集まり話を聞くことができた。
- ・連携して取り組む大切さを改めて感じた。保健室の先生とも話をしてみようと思う

<その他>

- ・禁煙はサイエンスに基づいて、広めなければならないという日野原先生のお言葉
- ・タバコの種類や保険適用条件、禁煙外来のスケジュールを守らねばならないなどを教えて頂いてよかった
- ・「45分ルール」があることを更に認知されていくよう願っています
- ・初めての参加者多かったこと

Q5. 今後とりあげてほしいテーマ(子どもの禁煙に関して)

- ・禁煙外来の事例
- ・薬を使う以外で、禁煙指導あれば知りたい
- ・学校との連携についての事例を挙げてほしい
- ・禁煙を続けるコツ
- ・グループワークは継続していただきたい。他職種の状況が学べました

Q6. その他、ご意見・ご感想・改善点等

- ・KKで最近の禁煙に関する医学情報の要約を紹介しているのがとても良い
- ・子供の喫煙の現状をもっと知りたい(地域別・県外・世界等)
- ・これからも学校の方へ通知をいただきたい
- ・家族、学校との連携の重要性を感じた。この会で得た情報を持ち帰り、患者だけでなくスタッフへも情報提供して、皆に禁煙の重要性を知ってもらえる様にしたい
- ・未成年の禁煙支援に関して現在、連携がとられているか?高橋先生がなさっている様に連携がとれていけば、きっと未成年の禁煙支援はうまくいくと思う
- ・会の継続を望む
- ・研究会での学びが、禁煙指導にとっても役立っている。今後も参加し続け、1人でも多くの禁煙成功者が出ます様に。吸わないよう子供たちに伝えていきたい。

.....

多くの貴重なご意見をありがとうございました。今後とも子ども達の禁煙推進のため、ご一緒によろしく願いいたします。

(報告者:徳山クリニック禁煙外来 永吉奈央子)